

繊維径自動測長ソフト御提案書

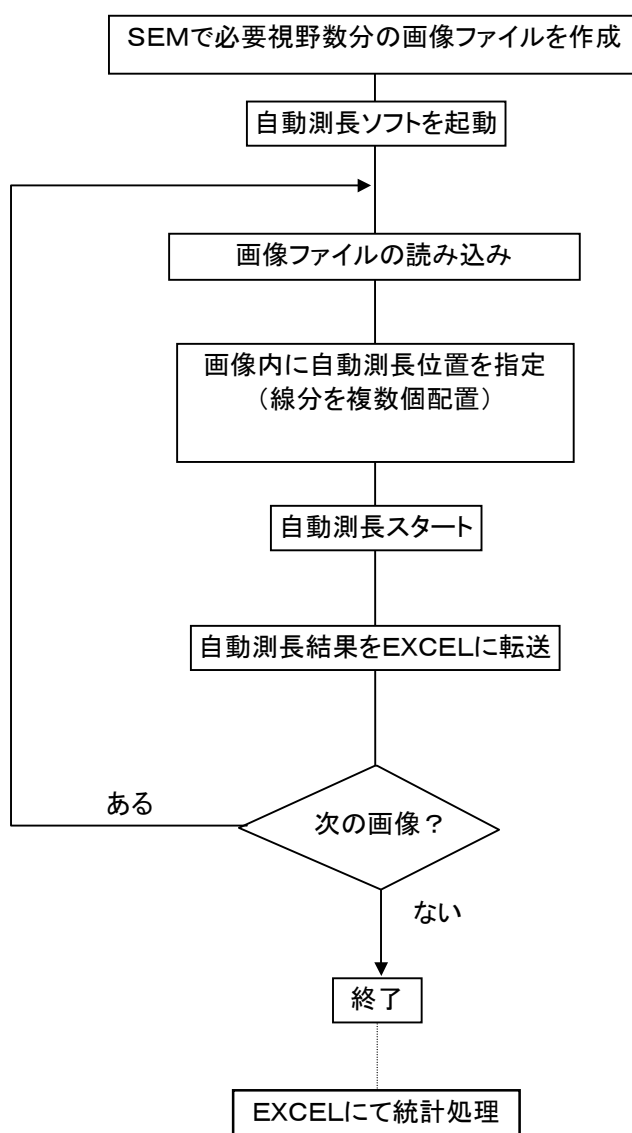
株式会社 電子光学研究所

1．概要

本ソフトは、予めSEMで保存された繊維の画像ファイルを読み出し、指定された領域で自動測長を行い、その結果を表計算ソフト（EXCEL）に自動的に転送するものです。

転送されたデータはEXCELの持つ各種統計機能により所望のデータ処理が行えます。

2．測定のフローチャート



3．注意事項

- (1) 入力画像は256階調グレースケール、非圧縮のBMPあるいはTIFF形式ファイルとします。
(S-3000形SEMからはこの形式で出力されます。)
- (2) 測定倍率は一度の測定内では一定とします。
- (3) 繊維が単独で背景が暗い中に存在する場合に測定可能です。重なりがある場合は不可です。
- (4) 自動測長パラメータは共通とします。
- (5) 自動測長位置指定のイメージは以下ようになります。測長位置で指定された線分上で自動測長します。線分の指定は繊維径に垂直になるように設定して下さい。

